

三 美しき空間 三
ちからどろくま



●「犬の日常生活」(Photo:Nanami,Shimabukuro)



今帰仁村

ななきじん

広報

Nakijin
毎月1日発行

- 今帰仁村民憲章
- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
 - 二、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
 - 三、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
 - 四、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
 - 五、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

2001年 12月
313号

—特集：世界のナキジンチュウ歓迎会—

おかえりなさい！ 世界のナキジンチュウ



多くの出会いと感動を呼ぶ「世界のウチナンチュウ大会」参加のため来沖した今帰仁村出身者を招いての「世界のナキジンチュウ歓迎会」が十一月三日、今帰仁村商工会ホールで催されました。

会場には三十九人の世界のナキジンチュウと多くの親戚や関係者らが詰めかけ、再会の喜びと感動をわかちあう中、仲里吉徳今帰仁村長が「幾多の苦難や困難な時にも希望とほほえみを忘れず飽くなき挑戦を続け、世界各地でご活躍されているすべてのナキジンチュウの皆さんは私たちの誇りであり、心から歓迎します」とあいさつを述べると、世界のナキジンチュウを代表して関西今帰仁村人会の玉城豊進さんが「こんなにも温かく受け入れてもらい感動した。遠くふるさとを離れていても今帰仁の血はつながっていると感じてい」と感慨深げに応えました。

このあと、参加者らによる国別代表あいさつでは、ブラジルから参加した今回参加最高齢者の岸本恵祥さん(82)(湧川出身)「一世が、ふるさとの盛大な歓迎振りに「参加できたことをうれしく思う。ブラジルでも時代の流れとともに村人会の中心は二世の皆さんに引き継がれてきた、これからは新しい世代の皆さんが手を取り合い、相互の明るい未来を築いてほしい」と若

者らに夢を託すと同じくブラジルから参加し、祖母が今帰仁の運天出身で自身も名桜大学に留学経験がある花城クリスティーナさん(26)「三世が「祖母のふるさとを訪れることができてうれしい。みんなとっても温かく友好的でまた来たい。」と感激した様子で話しました。

そのほか、メキシコで日本語を学び、母とともに始めて沖縄を訪れたヤマカワ・ハルミ・カタリーナさん(24)(古宇利出身)「四世は「美しい自然や伝統文化にとても感動した。素晴らしいこの島が大好きです」と満面の笑みを浮かべるなど、あいさつの間にも会場内ではあちらこちらで世界のナキジンチュウを取り巻く輪が作られ、家族や友人、そして当地での暮らしぶりや昔の思い出話に花を咲かせ、尽きない話に時のたつのも忘れ語りあっていました。

宴の最後は日本語の話せない二世や三世の方たちや周りの参加者も交えてのカチャーシーで盛り上がりを見せるなど、退場の際には「アリガトウ。アリガトウ」と深く頭を下げ笑顔を振りまく人や目に涙を浮かべ言葉を詰まらせる人など、それぞれが新たな故郷への思いを胸に刻み、再会を誓い合っていた。

姉妹再会に肩抱き合い喜ぶ



▲久しぶりの再会に喜びもひとしお

ブラジル・サンパウロ市で夫の春雄さん(東風平町出身)や息子夫婦らと暮らし、七年ぶりに今帰仁を訪れた具志堅末美さん(58)夫妻が十一月三日、運天に住む松田文子さん(78)宅を訪ね、金城三重さん(75)Ⅱ(那覇在住)ら二人の姉と久しぶりの再会を果たした。

この日は、姪の玉城知世ちゃん(10)も手作りのホットケーキと得意の三線で歓迎。親族らの温かいもてな

Encontro com alegria e abraços com as irmãs Haruo sam natural de kotchinda-son que mora atualmente em São Paulo Juntamente com os filhos veio de visita em Okinawa no dia 3 de novembro Juntamente com esposa Gushikem Suemi-sam(58) reencontrou com as irmãs Matsuda Fumiko-sam(78) que mora em Untem e kindjo Mie-sam(75) que mora em Naha

Nêsse dia a sobrinha Tamaki Tomoyo-tcham(10) fêz um bôlo e festejou o encontro dos parentes tocando samissem e prometendo reencontro daqui a 5 anos

しに末美さん夫妻は「遠く離れていても心はひとつ。五年後もぜひ今帰仁を訪れたい」とうれしそうに話していた。

世界のナキジンチュ

NAKIJINCHU in the world

MEMORY ~思い出~



▲参加者一人ひとりに仲里吉徳村長から記念品が手渡された



▲祖母の生まれ故郷を父、花城オリンピオ氏(左)とともに訪れた花城クリスティーナさん(中央)

ふるさとに集い
飛躍誓うー

未来
ちゆら夢
心にのせて



▲カナダ・バンクーバーより家族6名の大所帯で参加した嘉陽サエ子さんご家族。村長を囲んで…

ペルー今帰仁村人会村長を表敬



▲記念の旗とオブジェを贈ったペルー今帰仁村人会代表

約三百人余りのペルー在住ナキジンチュで構成される今帰仁村人会から十一月十九日、同会渉外担当の太田徹さん(62)(呉我山出身)とそのご家族四人が村役場を訪れ、仲里吉徳村長にペルー県人会特製の旗と記念オブジェを手渡した。

今回の表敬訪問は今年八月の「ペルー沖縄県人移住九十五周年記念式典」で催した世界遺産登録記念「今帰仁城跡」写真展(主催・ペルー今帰仁村人会)への協力お礼と五年後に開催される「移住百

Recibimos la visita de amistad a Sr. TETSU OTA(es descendiente de GOGAYAMA) de PERU NAKIJIN SONJIN-KAI(La Asociacion de personas originarias de la aldea de NAKIJIN-SON en PERU)

El dia 19 de Noviembre Sr. OTA(tiene 62 años) y 3 miembros de su familia desde PERU vinieron ala alcaldia de NAKIJIN-SON. Sr. OTA es el encargado de relaciones exteriores de "PERU NAKIJIN SONJIN-KAI" se compone de aproximado 300 NAKIJINCHU viviendo en PERU. Ellos hicieron entrega de una bandera y una objeto conmemorativo de fabricacion especial de PERU NAKIJIN SONJIN-KAI a el alcalde YOSHINORI MIYAZATO.

Esta visita tuvo por motivo expresar su agradecimiento por la colaboracion en la exposicion fotografica de "RUINAS DE CASTILLO DE NAKIJIN", se celebrou en agosto de este año en La ceremonia aniversaria para 95 años de inmigracion a PERU desde OKINAWA para conmemorar del registro a "Patrimonios de la humanidad de UNESCO".

Tambien tiene por un motivo mas pedir a los interesados de la aldea NAKIJIN asistir a "La ceremonia aniversaria para 100 años de inmigracion" que se celebrara 5 años después.

El representante Sr. Ota dijo "Quisiera esta visita de ocasion para construir un nuevo puente entre PERU y NAKIJIN-SON, y fortificar nuestros lazos. Deseamos que la relacion que continúe en memoria de nuestro ante pasados".

周年記念式典」への村関係者の出席要請を兼ねて来村したものの。代表の太田さんは「今回の訪問を双方の新たな掛け橋として絆を深め、今後さらなる発展に結び付けていきたい」と述べた。



▲緑に囲まれた静かな環境の学校予定地の仲宗根アハンナ原(写真手前)ではいよいよ校舎建築が始まる

平成15年4月開校 村立 統合中学校 校舎建築起工式

国や県からの補助を受けて、村内の四つの中学校を統合する統合中学校(仮称)の新築工事起工式が十一月十六日、今帰仁村仲宗根の建設予定地で行われた。

校舎や体育館など施設全体の完成は二〇〇三年三月までとし、同年四月には各学年四クラス編成、四百人余りの生徒らが新しい学び舎で新中学校のスタートを迎える。

村内では古宇利大橋建設事業に次ぐ大型の公共事業で総

事業費は約十八億七千万円。

三万八千五百八十八平方メートルの敷地内には普通教室や特別教室など四棟が並び、また、体育館屋上には学校施設の消費電力の一部を供給する環境にやさしい太陽光発電システムの導入も検討している。

今回の大型工事に伴い地元業者から工事の地元発注の強い要請がありそのため発注者の村も校舎ごとに工区を区分化、そのことにより工事のほとんどを村内業者が受注した。

起工式には県から浦添強施設課課長が出席したほか、村内外からも多くの関係者が顔をそろえ、仲里村長は「二十一世紀を担う子どもたちのよりよい教育環境づくりには多くの英知と技術を結集し、素晴らしい物を建ててほしい」とあいさつを述べた。

た。



▲舞台部門では数々の踊りや伝統芸能が披露された

書道・絵画・工芸品ずらり
練習の成果を披露
第19回今帰仁村文化祭

舞台部門

練習の成果を披露

書道・絵画・工芸品ずらり

展示部門

華やかな発表が繰り広げられ、中央公民館内をはじめとする展示コーナーには子供たちをはじめ、多くの村民から寄せられた書道や絵画のほか、生け花やパッチワーク、裁縫などの作品が所狭しと並び、訪れた人の目を楽しませてた。

主催者の山城清光実行委員長は「村文化協会の全面的な協力のもと今年も素晴らしい文化祭になった。これを期に多くの村民の文化的交流が図られ、文化村今帰仁としてのさらなる飛躍を期待したい」と述べた。

村民の文化活動への参加を促し、伝統文化の保存継承と新たな地域文化の創造を目的とした第十九回今帰仁村文化祭(主催:今帰仁村文化祭実行委員会)が十一月三、四の両日、村中央公民館を主会場に開催され大勢の人でにぎわった。古典音楽部会による古典音楽斉唱で幕開けした舞台部門では舞踊、歌、器楽合奏など



▲村民の力作がずらり並び展示コーナー

なきじん この人



「箏曲」で沖縄県文化功労賞受彰 運天直子さん (仲宗根)



▲「できることならまた若くなって、一から琴を学んでみたい」と向上心旺盛な運天さん

「大勢の方と喜びをわかちあえることに幸せを感じています」と家族やお弟子さんらに囲まれ笑みを浮かべるのは、永年にわたり琉球古典音楽箏曲の継承と練磨に努め、伝統芸能の普及、発展に尽くしてこられた運天直子さん(82) 仲宗根在。このたび、栄えあ

る平成十三年度沖縄県文化功労賞を受賞した。運天さんと琴との出会いは大阪で暮らした十七、八歳の頃。兄嫁が奏でる美しい音色を耳にし、その時「いつか自分も弾けるようになりたいと思った」と話す。それから数年後、郷里、今帰仁に戻った運天さんは、当時、県内で琉球古典音楽の復興に尽力されていた故・西島宗二郎氏(与那嶺出身)の勧めもあって、以前から関心のあった箏曲の道へ進んだ。しかし、そのころ周囲には指導者どころか琴を演奏する仲間もなく、本や三線の音階だけを頼りに独学で習得し、時間を見つけては練習に明け暮れる日々が続いた。そんな不断の努力が実って教師、師範の免許を得るまでに至り、その後も指導の傍ら自ら先頭に起って活発に演奏活動を行うなど、優秀な人材の輩出に努め、今ではその弟子や孫弟子など多くの

門下生が県内外で活躍している。運天さんはこれまで続けてきた箏曲に「六十年やってきたが、まだまだ未熟。難しいことばかりでこれからは満足することは無いと思う。」しかし「難しいから面白みがあり、奥が深いからこそ極める楽しさがある」とも。また「これまで楽しいことも苦しいことも色々あったが『人の和の大切さ』ということが一番に気づかされた。技術を競い合うことよりも琴を心から愛するもの同士が互いに自分自身を高め合うことが大事。」と話すなど、琴と向き合い共に歩んできた長い人生に裏打ちされた言葉の重さを感じさせた。数年前にひざを悪くして、これまで続けてきた教室は閉めたものの、今でも自宅にはいつも運天さんを慕ってお弟子さんたちが訪れるそうだ。朝晩一度は触れるという琴について「体の一部であり、人生の伴侶です。」ときっぱり、これからは初心に戻り、好きな琴の道を極めたいと話す向上心旺盛な運天さん。今後もお体にお気をつけ頑張ってください。

門下生が県内外で活躍している。運天さんはこれまで続けてきた箏曲に「六十年やってきたが、まだまだ未熟。難しいことばかりでこれからは満足することは無いと思う。」しかし「難しいから面白みがあり、奥が深いからこそ極める楽しさがある」とも。また「これまで楽しいことも苦しいことも色々あったが『人の和の大切さ』ということが一番に気づかされた。技術を競い合うことよりも琴を心から愛するもの同士が互いに自分自身を高め合うことが大事。」と話すなど、琴と向き合い共に歩んできた長い人生に裏打ちされた言葉の重さを感じさせた。数年前にひざを悪くして、これまで続けてきた教室は閉めたものの、今でも自宅にはいつも運天さんを慕ってお弟子さんたちが訪れるそうだ。朝晩一度は触れるという琴について「体の一部であり、人生の伴侶です。」ときっぱり、これからは初心に戻り、好きな琴の道を極めたいと話す向上心旺盛な運天さん。今後もお体にお気をつけ頑張ってください。

門下生が県内外で活躍している。運天さんはこれまで続けてきた箏曲に「六十年やってきたが、まだまだ未熟。難しいことばかりでこれからは満足することは無いと思う。」しかし「難しいから面白みがあり、奥が深いからこそ極める楽しさがある」とも。また「これまで楽しいことも苦しいことも色々あったが『人の和の大切さ』ということが一番に気づかされた。技術を競い合うことよりも琴を心から愛するもの同士が互いに自分自身を高め合うことが大事。」と話すなど、琴と向き合い共に歩んできた長い人生に裏打ちされた言葉の重さを感じさせた。数年前にひざを悪くして、これまで続けてきた教室は閉めたものの、今でも自宅にはいつも運天さんを慕ってお弟子さんたちが訪れるそうだ。朝晩一度は触れるという琴について「体の一部であり、人生の伴侶です。」ときっぱり、これからは初心に戻り、好きな琴の道を極めたいと話す向上心旺盛な運天さん。今後もお体にお気をつけ頑張ってください。

門下生が県内外で活躍している。運天さんはこれまで続けてきた箏曲に「六十年やってきたが、まだまだ未熟。難しいことばかりでこれからは満足することは無いと思う。」しかし「難しいから面白みがあり、奥が深いからこそ極める楽しさがある」とも。また「これまで楽しいことも苦しいことも色々あったが『人の和の大切さ』ということが一番に気づかされた。技術を競い合うことよりも琴を心から愛するもの同士が互いに自分自身を高め合うことが大事。」と話すなど、琴と向き合い共に歩んできた長い人生に裏打ちされた言葉の重さを感じさせた。数年前にひざを悪くして、これまで続けてきた教室は閉めたものの、今でも自宅にはいつも運天さんを慕ってお弟子さんたちが訪れるそうだ。朝晩一度は触れるという琴について「体の一部であり、人生の伴侶です。」ときっぱり、これからは初心に戻り、好きな琴の道を極めたいと話す向上心旺盛な運天さん。今後もお体にお気をつけ頑張ってください。

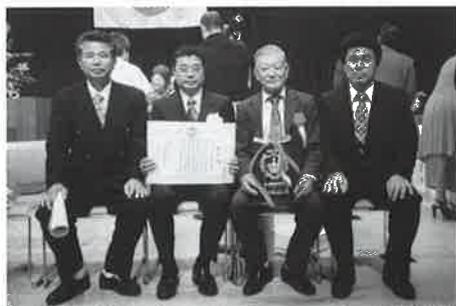
門下生が県内外で活躍している。運天さんはこれまで続けてきた箏曲に「六十年やってきたが、まだまだ未熟。難しいことばかりでこれからは満足することは無いと思う。」しかし「難しいから面白みがあり、奥が深いからこそ極める楽しさがある」とも。また「これまで楽しいことも苦しいことも色々あったが『人の和の大切さ』ということが一番に気づかされた。技術を競い合うことよりも琴を心から愛するもの同士が互いに自分自身を高め合うことが大事。」と話すなど、琴と向き合い共に歩んできた長い人生に裏打ちされた言葉の重さを感じさせた。数年前にひざを悪くして、これまで続けてきた教室は閉めたものの、今でも自宅にはいつも運天さんを慕ってお弟子さんたちが訪れるそうだ。朝晩一度は触れるという琴について「体の一部であり、人生の伴侶です。」ときっぱり、これからは初心に戻り、好きな琴の道を極めたいと話す向上心旺盛な運天さん。今後もお体にお気をつけ頑張ってください。

2001年版 村勢要覧 「なきじん」発刊



本村の自然、産業、福祉、教育などのあらましを綴った2001年版の「村勢要覧」が三年ぶりに発刊されました。今回はカラー版の本編と資料編の二冊組で各家庭や学校、事業所などに配られます。どうぞ御活用ください。

平成十三年度の沖縄県文化功労者表彰式が十一月六日、沖縄県庁の講堂で行われた。これは、芸術文化の振興や文化財の保護に尽力する等、



▲表彰状と記念の盾を手に喜ぶ湧川路次楽保存会の皆さん

本県の文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して沖縄県教育委員会が表彰するもので、本村からは、団体で湧川の路次楽、個人では運天直子さん(仲宗根二九〇三) 〔上記記事参照〕がそれぞれ受賞した。団体の部で受賞を受けた湧川路次楽保存会会長の与儀弘文さんは「今回の受賞は大変嬉しく思うと同時に、後継者の育成等、保存・伝承活動に今まで以上に積極的に取り組んでいきたい」と表彰の喜びを語った。

湧川路次楽保存会(団体)文化財保護 個人の部では、運天直子さん(箏曲)が受賞 二〇〇一年度沖縄県文化功労賞

本県の文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して沖縄県教育委員会が表彰するもので、本村からは、団体で湧川の路次楽、個人では運天直子さん(仲宗根二九〇三) 〔上記記事参照〕がそれぞれ受賞した。団体の部で受賞を受けた湧川路次楽保存会会長の与儀弘文さんは「今回の受賞は大変嬉しく思うと同時に、後継者の育成等、保存・伝承活動に今まで以上に積極的に取り組んでいきたい」と表彰の喜びを語った。



▲ブエノスアイレス市にある国会議事堂・裁判所(官久庁舎)

アルゼンチン共和国は人口三千六百十二万人余、面積二百七十八万四平方キロメートルで日本の約八倍、南北の長さ約三千七百キロメートル、東西の最大幅約千七百メートル、最短幅は約二百五十メートルで南米第二の大陸で移住者受け入れ国として世界

つ。街並みは碁盤の目のように整然と区切られ、緑の並木が繁り十七・十八世紀頃の古い建造物と近代的な高層ビルが異様な形でコントラストをなして立ち並んでいる。市の中央をはしる幹線道路は道幅百四十三メートルの広さがあり「七月十九日通り」といわれ、その中



アルゼンチンを

訪問して

下

今帰仁村議会議長

運 天 政 徹

今帰仁村収入役

仲尾次 吉 澄

各国の種類のルツボといわれ、現在では日系人約五万人のうち七十%の三万五千人が沖縄県系人だといわれるまでに繁栄をみている。

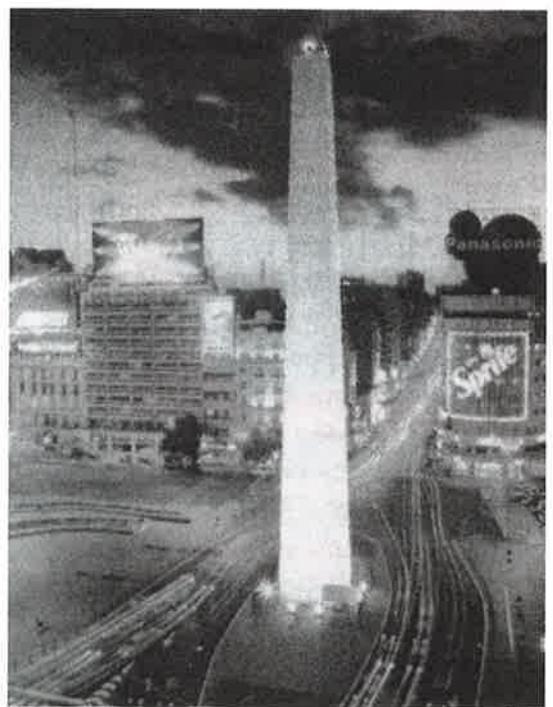
訪問地は主に首都ブエノスアイレスで「ブエノスアイレス」とは公用語のスペイン語で「よい空気」の意味をも

心にビルの十数階建ての高さのシンボルタワー「オベリスコ」が一際目立つ。いわゆるヨーロッパ的雰囲気と生活様式を合わせもつ「南米のパリ」とも呼ばれ、国の政治・経済・文化の中心地である。通貨はアルゼンチンペソで一ペソ＝一米ドルで、ドルでも買物ができる。日本との時間差はマイナス十二時間でアルゼンチンの方が遅れている。

三日間の公式日程も無事終え、残る三、四日の滞在中は、村人会長の山城弘美氏、前会長の上間隆氏をはじめ、諸喜田貞氏、仲宗根誠氏、伊波興秀氏等の案内で山城会長



▲アルゼンチンのゴルフプレイヤーと(山城会長経営のクラブハウス前にて)



▲夕暮れとともにライトアップされる町のシンボルタワー「オベリスコ」

の経営する沖縄ゴルフクラブゴルフ場(面積約三十四万坪・十八ホール)及びクラブハウス・レストランや諸喜田貞氏らが共同経営している松下・ソニー提携の電気会社、上間隆氏が通訳ボランティアを務めるアルゼンチンサッカーチームの合宿場、与那城浩子夫妻のアイスクリーム関係の製造・販売の店舗、上間貞夫・節子夫妻の長男等が経営する金物店やビデオ店等を見学、その他村出身者が経営しているクリーニング店や貸店舗、貸アパート等を見せていただき、経済状況の厳しい状況下にあつて、あらゆる分野

において仕事を安定させ生活基盤を築き活躍されていることが伺えた。また、村人会の皆さんの取り計らいで、郊外にある外人墓地公園も案内してもらい、元村議会議員の故・諸喜田米助氏(兼次出身)、故・諸喜田米松氏(今泊出身)の墓前に献花し、ご冥福を祈ることができ感慨深いものがあった。

そこから約一時間かけて上間貞夫・節子夫妻の宅を訪れることができ、そこには上間家の子供や兄弟姉妹も一堂に会しての賑やかなひとときを過ごせた。特に貞夫氏の母マツ様(九十一歳)が手を強く握

りしめ流暢な今泊方言での歓迎には本当にシマンチュの温かさを感じさせてくれた。

滞在最後の夜は山城会長の孝子さん、諸喜田小夜子さん達の手料理の晩餐会に招かれ夜が更けるのも忘れて歓談が続き別れを惜しんだ。

帰沖当日はわざわざ空港まで見送りに来られた村人会・県人会の役員の方々に心から感謝を申し上げます。また、滞在中は多くの方々にお世話になりましたが、誌面の都合上お名前を割愛させていただきます。

今回特に村人会の皆さんから要望のあった南米移住者の子弟研修生受け入れについては既に要綱(案)もできあがり、次年度実施に向けて取り組んでいるところであり、また、三年後に開催予定の在亜村人会創立七十周年記念式典への村民参加の呼びかけについては、村議会、村区長会をはじめ各種団体へも積極的にはたらきかけ、多数の村民が訪亜できることを期待したいと思えます。



▲上間貞夫・節子夫妻宅(前列上間マツ様)

現在、在亜県連のもと在亜各市町村人会では、健康づくりや情報交換等の活動としてゲートボールやグラウンドゴルフが盛んに行われており、いつの日か村民との交流試合もしたいという話があった。かつて、先人達が開拓移民・呼び寄せ移民として六〜七〇日かけて渡航した国、アルゼンチンも今では、航空機利用により、約三〇時間余りで行けるまでになった。アルゼンチンは遠い国のように近い国かも知れない。在亜村人会も一世から二世の世代へ、そして三世の時代へと世代交代が進んでおり、このネットワークを今後の村政に活用できるように要望



▲空港に見送りにこられた村人会の皆さん



▲山城会長宅にてお別れ会(村人会会員の皆さん)

等への実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。
ムーチャス・グラチアス・ボル・トド(いろいろお世話になりました) (おわり)

このほど山岳交差点と徳山交差点の二カ所に新しい信号機が設置され、点灯式と渡り初めが十月三十日行われた。山岳交差点の点灯式では住民や子どもたち約五十人が参加、この日は、犯罪捜査に活躍中の囃託警察犬のアトラス号(所有・上原寛一氏【玉城区】)によるデモンストレーションも特別に行われるなか、仲宗根盛徳本部署副署長が「交通事故の多くは道路の横断時に起きている。信号があるからといって安心せ



▲安全確かめ参加者全員でわたり初め



▲警察犬アトラス号のデモンストレーションも披露

から安心してわたれます。これからも油断することなく交通ルールを守り安全に気をつけたい」と元氣よくこたえ、参加者全員と喜びいっぱいであたり初めを行った。

ず、いつでも左右確認しながら横断してほしい」とあいさつした。
また、児童を代表して田港朝佳君(天底小六年)が「見通しの悪かった交差点に信号機ができたことで今日

喜びいっぱい渡り初め
山岳交差点(天底)に信号機
徳山交差点(運天)



フォト ニュース

むらの 話題

広報なきじんに
情報をお寄せ下さい。

〒905-0492
今帰仁村役場「広報なきじん」

道ジユネーや伝統芸能を披露 四年ぶりの豊年祭大盛況!

仲宗根区



▲女性のみで演じられた「中城情話」は会場に大ウケで盛んな声援が送られた

「区民の健康や子孫繁栄、五穀豊穰(ほうじょう)など」などを願う仲宗根区(区長・与那嶺雄源)の伝統行事「豊年祭」が十月二十七、二十八の二日間にわたって催さ

れた。四年に一度、執り行われる「豊年祭」は同区で最も大きな字行事。今年には保育園から高齢者の方まで区民全体で取り組んだ。この日は、イナプスでの豊年祈願をすませた後、旗頭を先頭に田原(ターバル)地区から仲宗根公民館まで練り歩く「ミチジユネー」がはじまり、棒術や獅子舞のほか、各班ごとの演出に沿道に詰めかけた多くの観客から盛んな拍手が送られた。また、夕方からはムラアサギの前の特設舞台で「長者の大王」や「こてい節」など地域に伝わる伝統芸や演劇「中城情話」などが演じられ、会場を訪れた五百人余の見物客を楽しませた。



▲ゴール前では激しい攻防を繰り広げた

与那ファミリィが堂々二連覇 第18回村バスケットボール大会

村体協

第十八回今帰仁村バスケットボール大会(主催・村体育協会)が十一月十一日、村民体育館で行われた。大会には、男女混合の五チームが参加して熱戦を展開、決勝は後半粘りを見せた与那ファミリィチームが光風会チ

ームを七十対五十二で退け、昨年に続き優勝に輝いた。またチームを代表した四名のフリースローの正確さを競い合うフリースローの部でも与那ファミリィが圧倒的な強さで二連覇を果たした。

星座見つけ歓声あがる 星座教室に親子三十組参加

教育委員会

季節の星座観察を親子で楽しむ「親子星座教室」が十月二十二日、村民体育館の展望フロアで行われた。

この日はあいくの曇り空にもかかわらず、村内各地から親子三十組が参加。天候の回復を待ちながら講師の仲地暁先生が

季節の星座や星座にまつわる物語を紹介、また、今年の世界各地で観測できる「しし座流星群」や星座の探し方についてもユーモアを交えわかりやすく説明するなど、終始、和やかな雰囲気の中、星や星座について学んだ。

そうしているうちに曇り空にも一瞬の星空がひろがり、きらびやかに輝く星を指差し、「みつけたー。」と星座発見に歓声をあげていた。宇宙少年団に所属する当山



▲興味津々で星空を観察する参加者



Photo News

一三四人がプレー楽しむ 第17回村親善チャリティーゴルフ大会

嵐山ゴルフ倶楽部



▲秋晴れの下気持ちよくプレーする参加者達

た自慢の腕を競い合った。

今年も恵まれたせいも、例年になく多くの参加者が好スコアをマークし、ベストグロスに輝いた新里勇さん(事業所)が71と大会初のアンダーブレイを記録した。

「ナイスショット」。ギヤラリーの声援のなか、第十八回今帰仁村親善チャリティーゴルフ大会が十一月七日、嵐山ゴルフ倶楽部(パー72)で開催された。

同競技はゴルフ愛好者の親睦と本村の社会福祉資金と人材育成資金の造成を目的に毎年、春と秋に行われるもので今回も二百三十四人のゴルフア

ーが日頃鍛え

成績結果

■個人の部

優勝=高山朝光(呉我山) 79 (9・6) 69・4

二位=川満榮(事業所) 84 (13・2) 70. 8

三位=玉城義克(兼次) 79 (7・2) 71・8

■ベストグロス

男子=新里勇(事業所) 71

女子=高良初枝(諸志) 77

■団体の部

優勝=呉我山チーム 311

また、今回の表彰式は満天の星空を眺めながら村中央公民館・中庭での開催となり、参加者は料理に舌鼓を打ち、酒を酌み交わしながらゴルフ談義に花を咲かせ互いの交流を深めていた。

なお、団体個人の各賞は次のとおり。



▲あっという間に選手の囲りは子ども達の輪ができた

秋のやんばる路を銀輪で駆け抜ける「ツールド・おきなわ2001」参加のため来沖した、オランダチームの選手・監督ら七人が十一月八日、今帰仁小学校(安田栄蔵校長)を訪れ、五、六年生の児童らと〇×クイズや自転車試乗などで交流を楽しんだ。

児童らとクイズやレク楽しむ ツールド参加のオランダ選手団

今帰仁小

歓迎セレモニーでは、子どもたち自らパソコンを操作し、沖縄や今帰仁の自然や歴史、文化などを紹介したほか、六年生代表の十九人が伝統あるエイサーで選手らを歓迎した。

その後の交流会では子供たちが一斉に選手らの元へかけたり、片言の英語で話しかけたり、腕立てふせや腕相撲で力比べをするなど思い思いに交流を深めた。

チームを率いるアノ・ペダソン監督も「今日の交流は自分たちにとってもすばらしい体験になるだろう」と笑顔で応えていた。

自然保護と奉仕の心芽生える 恒例のビーチ・クリーン活動

天底小

天底小学校(大城淳稔校長)の全児童百七十八人と職員が毎年恒例の運天(クンジャ)浜のクリーン活動を行った。

今年も夏場に大型台風の接近もあって例年になくたくさん

この日は、海上保安庁からも職員が応援に駆けつけクリーン活動の前に「ゴミを拾うより、ゴミを捨てない、ふやさない努力を皆ではじめよう」と職員自作の紙芝居を披

近もあって例年になくたくさん

この日は、海上保安庁からも職員が応援に駆けつけクリーン活動の前に「ゴミを拾うより、ゴミを捨てない、ふやさない努力を皆ではじめよう」と職員自作の紙芝居を披



▲子ども達の手によってあっという間に山のようなゴミが集められた

露して地球にやさしい環境づくりを呼びかけていた。

県高校駅伝

古豪復活！北山高校男子駅伝部 十七年ぶりの二位入賞で九州大会出場



▲九州大会出場権も獲得し、二重の喜びに沸く北山高駅伝部

京都・都大路で開催される全国高校駅伝大会の出場権をかけた第四十九回沖縄県高校駅伝競走大会が十月二十八日、宮古島で開催され、伝統ある北山高校・男子駅伝部が十七年ぶりに三位入賞を果たし、応援に駆けつけた父母や学校関係者らを喜ばせた。過去に五度の優勝、三度の全国大会出場を誇る同校男子駅

伝部もここ数年は他の部から選手を借りての大会出場が多く順位や記録も低迷していた。そんな折、昨年、沖縄県より駅伝強化校の指定を受け、同時に同校駅伝部出身の浜里正巳監督も赴任、熱心な指導の力であって今年になって選手らがメキメキ頭角をあらわし、今回の好成績に結びつけた。同チームは県大会における三位入賞で十一月十八日に開催された九州地区高校駅伝大会(宮古島大会)にも派遣されたが、結果は県大会で唯一区間賞を獲得した親川信吾君の故障欠場などもあって惜しくも最下位。しかし、選手らは全国でもトップクラスの九州勢に少しも気後れすることなく、堂々たる走りです。「古豪！北山高校駅伝部の復活」を印象付けた。

三年生でキャプテンを務めた平安道晴くんは「九州大会は残念な結果に終わったが、伝統校復活の足がかりに貢献できたことを誇りに思う。後輩たちには自分達の果たせなかった優勝を勝ち取り、全国大会で活躍してほしい」と感想を述べ、後輩たちにエールを送った。また、浜里監督は「結成間もないチームが短期間で三位入賞を果たせたのはこれまでチームを支えてきた二年生、二年生の頑張りに尽きる。残された部員は全員一年生だが、今後、大きな期待が持てる。次は県大会優勝を目指し、全国でも通用するチームに励みます」と高い目標を掲げ、選手や自らを奮い立たせていた。なお、新チームのスタートは、来年の一月、今帰仁村で行われる高校新人駅伝大会。今回同様、地元での活躍が期待できそうです。

第38回 国頭郡陸上競技大会

今帰仁勢の健闘光る

男子・壮年で2位 女子・総合は3位
金城研選手 100m・200mで大会新



▲最終種目の1600mリレーを力走する今帰仁チーム

秋晴れが広がる絶好のスポーツ日和の下、第三十八回国頭郡陸上競技大会が十月二十八日、名護市営陸上競技場で行われた。国頭郡の十一町村のアスリートが一堂に集い、男子二十一種目、女子十三種目、壮年

十七種目に熱戦が繰り広げられた。本村からは六十五人の選手が出場し、個人の部では金城研選手が男子百メートルで十秒八、同二百メートルで二十二秒〇と両種目で大会新記録を樹立したのをはじめ、大城夏樹選手が女子やり投げと円盤投げで二種制覇、伊志嶺力選手が男子ハンマー投げで優勝するなど、各種目で今帰仁勢が好成績を修める活躍を見せた。総合得点争いでは一般男子の部と壮年の部が準優勝。女子の部でも二位入賞するなど、総合三位と大健闘した。なお、総合得点の結果は次のとおりです。

男子	チーム名	伊江	今帰仁	宜野座
	得点	93	92	81
壮年	チーム名	伊江	今帰仁	恩納
	得点	85	73	67
女子	チーム名	宜野座	伊江	今帰仁
	得点	76	64	53
総合	チーム名	伊江	宜野座	今帰仁
	得点	242	218	218

※同点の場合は、上位入賞種目の数で決める。

今帰仁のグスクを歩く ⑥

シイナグスク

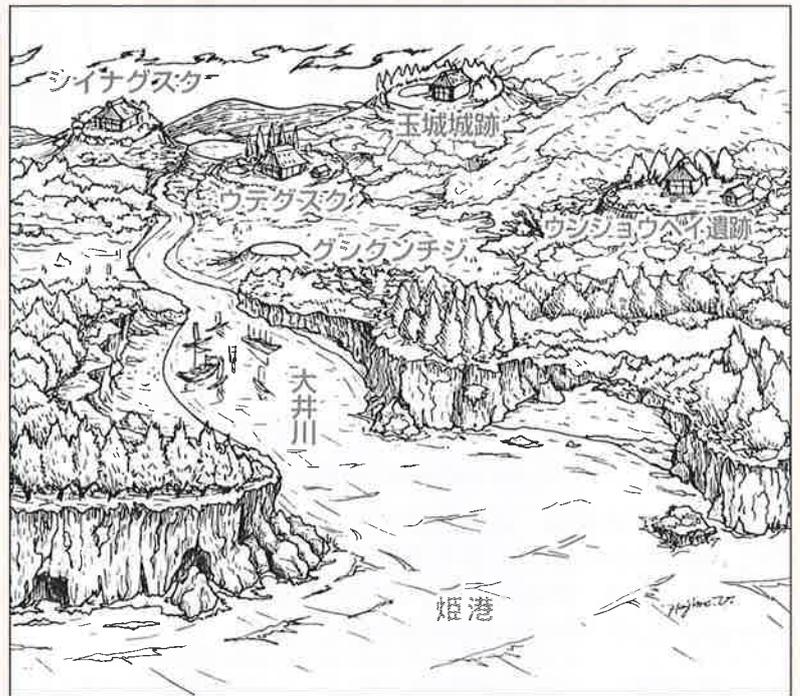


仲宗根のグスクンチジ、玉城のウチグスク、玉城城跡等これまで大井川沿いに連なるグスク群を紹介してきた。

その最後にシイナグスクを紹介したい。呉我山三謝原に所在し大正九年までは天底地番にあった。眺望は広く湧川、羽地内海を望む丘陵上に立地する。伝承では今帰仁グスクができる前にここに城を築いて按司が住んでいたが、

水の便が悪く今帰仁グスクへ移ったとされる。規模こそ小さいが、岩山に築き、ねずみ色の石灰岩を積み上げた城壁や拾われた陶磁器など類似性も指摘することができ。詳しい調査は行われていないが、溪谷のグスク群のなかでも重厚なつくりで高所にあることなどから重要な機能を持つていたと考えられる。

(文化財係 宮城 弘樹)



※大井川沿いに連なるグスク群想像図 絵：運天肇

九州高校放送コンテスト = 沖縄大会 =

最優秀賞 岸本江利香さん
(アナウンス部門)

テレビ番組部門「魔法のノート」と
アナウンス部門(玉城君)も優秀賞



▲笑顔で受賞を喜ぶ北山高写真部の皆さん

県内の高校生がアナウンスや朗読、ラジオ、テレビ番組制作などの四部門で技を競いあう、第二十三回九州高校放送コンテスト沖縄県大会が十一月八日、那覇市の「ているる」(原女性総合センター)で開催され、声の大きさやアクセント、読み上げる原稿の内容などを審査の対象としたアナウンス部門で、北山高二年の岸本江利香さんが最優秀賞を受賞し、同じく同校一年の玉城康

幸くんも優秀賞に輝いた。

また、テレビ部門では、クラスの誰もが自由に書きこむことのできるノートを通し、お互いの絆を深めていくドキュメント作品「魔法のノート」(北山高放送部)が優秀賞を獲得した。

今回、表彰を受けたアナウンス部門の二人とビデオ作品は十二月十三、十四の両日、那覇市で開催される九州大会に派遣される。

山城 正村議会議員 総理大臣より感謝状



▲議会開会前に伝達表彰を受ける山城氏

長期にわたり町村議会議員に在職され、地方自治の発展に顕著な功績のあった方々に贈られる平成十三年度総理大臣感謝状贈呈者の発表がこのほど行われ、本村から山城正村議会議員が受彰されました。

山城氏は九期三十五年にわたる村議員在職中、各種運営委員長をはじめ、副議長、議長を務めるかたわら、北州市町村議会議長や沖縄県町村議会議長会副会長などを歴任するなど、地方自治行政の発展や住民福祉の向上に対する多大な尽力が高く評価されたものです。

Information

知って得する情報

新地域医療サービスのお知らせ

来年、平成14年1月(予定)

より、(社)北部地区医師会
会員の病院・医院・診療所など
で新しい地域医療サービスが
開始されます。

サービス提供にともない、
お手元にICカードを利用し
た、新しい共通診療券をお
配りいたします。

*カードは手渡しで配布する予定ですが受け
取りの際は内容をご確認のうえ、受領サイン
をいただけますようお願いいたします。

新しい診療券を使うと、
とっても便利になる
らしいぞ



新しい診療券を
使うと、こんなに便利!!

● 初診の際、問診表などの記入が不要
になり、受付が簡単になります。

● 大きな病院で受けた診察や検査の結
果を、ご近所の診療所で確認でき、専
門医がいらない診療所でも専門医と同
様の医療サービスが受けられます。

● 氏名、連絡先、血液型など、緊急時に
必要な情報がわかるので、迅速な対
応が可能となります。

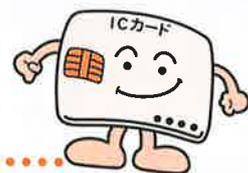
● 医院・診療所・検診センターで受診し
た記録やアレルギー反応、お薬の処方
状況などがわかるので、お薬の二重
投与などを防ぎます。

● 将来的には、全ての患者さんが一枚の
診療券で全ての病院・診療所に通え
ることを目指します。

* 右記サービス内容は、都合により一部変更
となる場合があります。ご了承ください。

お問い合わせ先 参加医療施設など、ご質問・ご不明な点がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

(社)北部地区医師会 医療情報ネットワーク担当窓口
TEL : 0980-54-1033 (受付時間 平日9:00~17:00)
HTTPアドレス : <http://www.yanbaru.ne.jp/~d-hokubu/IC/index.htm>
E-mailアドレス : d-hokubu@yanbaru.ne.jp



新しい地域医療サービスは、経済産業省と(財)ニューメディア開発協会が進める「ICカードの普及等によるIT装備都市
研究事業」の一環として、北部地区医師会の参画する沖縄北部地区医療情報研究会が行う実証実験です。

実施主体：沖縄北部地区医療情報研究会

平成14年度・第1学期(4月入学)学生募集!
入学してみませんか!放送大学!

出願期間 平成13年12月15日(土)~14年2月15日(金)

放送大学では、幅広い分野の320科目を準備。
授業は自宅または沖縄学習センターで視聴。18才以上であ
ればだれでも入学可。卒業を目指す方は、578,000円で卒業
でき、1科目だけでも受講可(9,000円)。

資料請求・お問合せ:放送大学沖縄学習センター

0968-895-5952

第11回 今帰仁村健康まつり

~健康は明るいみんなの笑顔から~

12月8日(土)・9日(日) 会場:村民体育館

1日目 午後2時~5時

オープニングセレモニー.....14:00

健康講演会

~健康と道づれ(生・老・病・死) 14:30~16:00

講師 泉崎病院顧問 平田亮一先生

母子保健展示各コーナー.....14:00~17:00

2日目 午前9時~午後5時

乙羽朝市.....7:00~12:00

健康チェック・体力測定・歯科相談.....9:00~17:00

母子保健・救急救命・展示.....9:00~17:00

歩き方教室.....9:00~10:00

村民グラウンドゴルフ大会

主催:今帰仁村健康まつり実行委員会

保健予防課からのお知らせ

今帰仁村の老人医療費(総医療費及び薬代)の推移

今帰仁村の1人当たり老人医療費は毎年伸び続けています。その中でも1人あたりの薬剤の支給金額については、県内でも7位と非常に高い位置にあります。薬は正しく使用することで治療の効果をあげることができますが、体調や薬の飲みあわせによっては副作用がでる場合があります。多くの薬剤が支給されているということはそれだけ副作用の危険性も生じてきます。自己判断で使用するのではなくお医者さんや薬剤師の指示をあおぎ正しい使用を心がけましょう。

年 度	1人あたりの 薬剤支給金額	県内 順位	1人あたり 老人医療費	県内 順位	総老人医療費	前年度 伸び率
平成10年度	53,344	9位	969,910	17位	1,615,385,044	
平成11年度	70,296	6位	1,008,358	12位	1,721,687,487	7%
平成12年度	78,220	7位	830,331	10位	1,468,579,086	-15%

(注)平成12年度において「1人あたり老人医療費」、「総老人医療費」が減少していますが、平成12年度より介護保険制度が施行され、老人医療で負担していた一部が介護保険制度の負担へと移行したため、老人医療費が減少したわけではありません。

「入院したときに支払う費用」

かかった費用の1割を負担します

ただし、1か月の負担には1つの医療機関ごとに上限(限度額)があります。

入院したときの食事代は、1日分として定められた額を入院日数分支払います。

対 象	自己負担限度額	入院時の食事代 (日数分支払います)
一 般	1か月に 37,200円まで	1日に780円
住 民 税 非 課 税 世 帯 等	1か月に 24,600円まで	90日までの入院は 1日に650円
		過去12か月の 入院が90日を 越えるときは 1日に500円
住 民 税 非 課 税 世 帯 等 で 老 齢 福 祉 年 金 を 受 け て い る 人	1か月に 15,000円まで	1日に300円

かかりつけ薬局をもちましょう



◆かかりつけ薬局をもつと安心です◆

- 医師と薬剤師の二重チェックがうけられます。
- 薬の使用や飲みあわせなど十分な説明がうけられます。
- 重複投与による副作用が避けられます。



- 薬の使用や指導内容などを薬歴として記録してくれます。
- 待たずに薬がもらえます。
- 処方せんがあれば代理の人でも薬をつけとれます。

お問い合わせ：役場保健予防課 老人医療係
電話 56-1234

*住民税非課税世帯の減額制度に該当するには、申請手続きが必要になります。役場へお問い合わせ下さい。

第七回特別弔慰金の請求は お済みですか?

請求期限は、
平成14年4月1日まで

この期限を過ぎますと、法律の規定により、特別弔慰金を受ける権利が消滅します。

対象者: 戦没者死亡当時の三親等内親族で、主に次の要件を満たす方に特別弔慰金が支給されます。

- 平成7年4月1日から平成11年3月31日までの間に、公務扶助料や遺族年金等の受給権者が遺族内にいなかった方
- 平成7年4月2日から平成11年4月1日までの間に、戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方。
(ただし、平成11年4月1日において同一の事由につき公務扶助料や遺族年金等の受給権者がいる場合を除く。)

給付内容: 額面24万円、6年償還の記名国債 **請求窓口:** 今帰仁村役場 福祉課 TEL56-4189



第120期 沖縄産業開発青年隊募集

青年隊は全寮制のもと主に技能訓練(建設機械等の実習・農場実習)、
勤労教育(農協・畜産実習)を行っています。

- 1. 募集人員 120名(義務教育を終了した満27歳までの若者、
心身健全で共同生活を守りうる者)
 - 2. 入隊期間 平成14年4月2日～平成14年9月19日
 - 3. 入隊費用 323,500円(入隊費・食費・共同購入費)
 - 4. 申込期限 平成14年2月28日(木)まで
- ※募集に関するお問い合わせは TEL.(0980)43-2118まで

所得税の申告が 新しくなります

納税者の方々からの「分かりやすく、
書きやすい申告書を」という声にお
応えし、平成14年1月(平成13年分
の確定申告)から、所得税の確定申告
書が新しくなります。

申告書新様式のポイントは次のとお
りです。

1. 様式を2種類に
(分離課税用などが別表に)
2. 用紙がA4サイズに
(用紙が2枚に)
3. 記載欄を整理
4. 手引きを充実
(手引きで計算、やさしい申告)

申告書新様式は、最寄りの税務署や市町村税務課で観覧で
きるほか、国税庁ホームページ【<http://www.nta.go.jp>】
にも掲載しております。

預金の保護の範囲が 変わることをご存じですか?

- 万一金融機関が破たんした場合でも、預金者一人当たり、定期預金等
の元本1千万円までとその利息は、来年4月以降も保護されます。
- 合算して元本1千万円までとその利息は、あくまで最低保障ですので、
受け取れるのは1千万円だけではありません。
- また、当座預金・普通預金等は、平成15年3月まで全額保障されています。
- 詳細は、金融機関の窓口等にお問い合わせください。

— 金融庁 —

第18回 今帰仁村子ども会まつり

と き: 平成14年1月20日(日) 午後2時～

ところ: 今帰仁村コミュニティセンター

※多くの皆様の御来場をお待しております。

主 催: 今帰仁村子ども連絡協議会

第53回 人権週間

12月4日(火)～10日(月)

《平成13年キャンペーンテーマ》

『育てよう一人ひとりの人権意識』

— 思いやる心が築く新世紀 —



知って
いました?

平成14年4月から国民年金事務が 一部変更になります!

適用関係

●第3号被保険者関係届

現在、市町村を経由して届出されている第3号被保険者関係届が、配偶者(第2号被保険者)の勤務先から届出することになります。

(届出用紙は、健康保険の「被扶養者(異動)届」と一体化されます。ただし、住所変更届については、現行の届書を使用します。)

給付関係

●第3号被保険者期間を有する者の裁定受付

裁定請求書の市町村経由が廃止され、直接、社会保険事務所への請求となります。

保険料関係

●納付書の発行と保険料の納付先

市町村が発行している納付書は、国(社会保険庁)から発行することになります。また、保険料の納付先も市町村ではなく、国になります。

●保険料の納付できる金融機関の拡大

現在、国民年金保険料は、市町村ごとに指定した特定の金融機関で納付していますが、納付先が国になることにより、銀行、郵便局、農協、漁協、信用金庫、信用組合、労働金庫などどこでも納付できるようになります。

口座振替についても、特定の金融機関に限らず利用できます。(現在、口座振替されている方は引き続きご利用できます。)

●半額免除制度の導入

一定の所得基準のもと、保険料の半額の納付を要しない半額免除制度が新たに導入されます。



お問い合わせ

■役場・住民課(国民年金係) 56-2101

■名護社会保険事務所 52-2814

=平成14年= 新年の集い

日時:平成14年1月4日(金)午後4時~

場所:今帰仁村コミュニティセンター

会費:2,000円(当日徴収)

※村民どなたでも参加できます。
どうぞ、お気軽に御参加下さい。

成人式 =平成14年1月4日=

平成13年度の今帰仁村成人式式典を平成14年1月4日(金)午後2時より村コミュニティセンターで行います。式典のご案内は、今帰仁村に住所を登録されている新成人の方に通知することになっています。

村出身者で現在村外にお住まいの方も参加できます。

式典に参加を希望される方は12月20日までに教育委員会・社会教育課に①氏名②生年月日③村在住時の住所④現住所を連絡の上、お申し込み下さい。電話でも受け付けます。

教育委員会・社会教育課 電話 0980(56)2645・2647

お詫び
先月号のご寄付者名に誤りがありました。
訂正してお詫びいたします。
宮城康安↓宮城康吉

ご芳志ありがとうございました。
返しとして五万円
○島袋ミチさん(謝名三)より、米寿(トーカーチ)祝い

付、貸与用として
ト四台(四万円)相当を在宅老人、障害者の方への給

付、貸与用として
ト四台(四万円)相当を在宅老人、障害者の方への給

として十万円
○沖縄実業「会長:宮里繁」(那覇市安里一―八一九)より、ナシヨナルクリンポット

より母、ヨシ様の香典返しとして十万円
○大城秀輝さん(兼次五〇)

表紙・「^{ちゆら}美^{どくま}しき空間」



北山高校三年
島袋 奈々美

先日行われた高校文化祭の写真部門において、次大会の候補、十二作品のひとつに選ばれることができました。これからもたくさんの技術を身につけ、色々なものを撮り続けていきたいです。

村社会福祉協議会へ

